



学び舎探訪

北山小学校

1年生を迎える会

4月28日、北山小学校で1年生を迎える会が行われ、全校児童で1年生142人を温かく迎え入れました。

最初に1年生の紹介ビデオが流れ、全5クラスの元気いっぱいな1年生の姿が映し出されました。その後、1年生は児童会役員の児童とともに学校内を巡りながら、マネキンクイズに挑戦。上級生が各クラスで学校行事の1コマをマネキンのように表しているのを見て、何を表しているのかを考えました。上級生は、運動会で綱引きをしている様子や音楽の授業で歌っている様子、放課後にみんなで楽しく遊んでいる様子を再現し、1年生は「運動会だあ」「放課で鬼ごっこしてる」などと答えていました。最後は6年生とペアになって体育館に移動し、色取りゲームをして仲を深めました。

小学1年生の皆さん、学校生活には慣れてきたでしょうか。小学校で頼もしいお兄さん・お姉さんと一緒に、楽しい思い出をたくさん作ってください。



アローブ図書館

6月の休館日
6月～10(金)・20(月)

☎(48)1808

開館時間：9:00～20:00



今月の
一冊

「恐竜・古生物に聞く
第6の大絶滅、君たち(人類)はどう生きる？」
土屋健／著 芝原暁彦／監修
ツク之助／絵 イースト・プレス



これまでに地球上で5回も起きた「大絶滅」から人類が学べることは？ 恐竜たちの大絶滅、世界を変えた史上最大の大絶滅…。恐竜・古生物たちが「天上界からのラジオ」という形で大量絶滅事件に関する研究を紹介する一冊です。

4月予約ランキング

- 同志少女よ、敵を撃て 逢坂冬馬 / 早川書房
- 六人の嘘つきな大学生 浅倉秋成 / KADOKAWA
- 香君上 上橋菜穂子 / 文藝春秋
- カムカムマリコ 林真理子 / 文藝春秋
- ミウラさんの友達 益田ミリ / マガジンハウス

図書館イベント

読み聞かせ

- 6/15(水)・21(火)・22(水) 11:00～
(低学年まで) 6/5(日)・11(土) 14:00～
(高学年まで) 毎週(土) (6/11を除く) 14:00～
ストーリー・テリング(5歳以上) 6/11(土) 10:30～
わらべうた 6/23(木) 11:00～
紙芝居 6/25(土) 11:00～

図書館PickUp

パン・お菓子の本

『からすのパンやさん』『どんぐりむらのぱんやさん』など、パンとお菓子がでてくるお話をたくさん集めました。みなさんが知っているお話はいくつありますか？

▶棚番号 53 ▶特集期間 6/19(日)まで

おおぶきっちゃん



野菜を甘めに煮てあんかけにすることで、野菜をたくさん食べられます。いろいろな野菜でアレンジしても、おいしいです。

中華飯

▶▶ 材料(4人分)

米	220g ²	むきエビ	80g ²
ハクサイ	120g ²	モヤシ	40g ²
タマネギ	120g ²	砂糖	大さじ1
ニンジン	40g ²	醤油	大さじ1強
水煮タケノコ	40g ²	中華スープの素	
豚もも肉	100g ²	小さじ1強	
サラダ油	小さじ2	片栗粉	大さじ1弱

▶▶ 作り方

- ① 米は洗米し、水加減して炊く。
- ② ハクサイは、食べやすい大きさに切る。
- ③ タマネギ・ニンジン・水煮タケノコは、薄切りにする。
- ④ 豚もも肉は、一口大に切る。
- ⑤ 深めのフライパンにサラダ油を熱し、むきエビ・モヤシと②③④を加えて炒め、ひたる程度水とAの調味料を加える。
- ⑥ 味を確認し、水溶性片栗粉で仕上げる。
- ⑦ ①に⑥をかける。

※5/10に市立保育園で提供したメニューです。

THE KEVIN Report

vol. 26



大府市国際交流員
ケビン・ハンフリーズ

ウクライナ避難民への支援の輪

新しい国で生活することは、とても大変です。その国の文化と習慣に慣れるには時間がかかるため、母国で簡単に行っていた行動が、いきなり難しくなります。私が初めて来日したときもそうでした。記憶に残っていることは、カナダでいつも使っていた薬を薬局で探すのに苦労したこと。日本語はある程度読めたのに、薬の箱に書かれた文字が漢字の海のように見えて、探していた物が全然見つけれませんでした。店員に聞くことが恥ずかしくて、普段なら数分でできることが20分くらいかかりました。

私は自分で望んで日本に来ましたが、やむを得ない状況で母国を出る人も少なくないのではないのでしょうか。2月以降、多くのウクライナ避難民が発生し、多くの国が避難民を受け入れるようになりました。ニュースでよく取り上げられていますが、大府市も9人の避難民(5月9日時点)を受け入れています。そのため、市民や団体から避難民の生活を支援したいという声がたくさん寄せられています。市は、国際交流協会と一緒にさまざまな支援をしており、そのうちのひとつが、公共施設に設置している募金箱です。国際交流員としていろいろな仕事をしてきましたが、避難民をサポートすることはとてもやりがいがあります。皆さんも機会があれば、市役所や公民館、児童センターなどに設置している募金箱を見つけて、少しでも寄付してもらえると嬉しいです。避難民が失ったものを取り戻すことはできないですが、日本での生活の大きな力になります。



▲ケビン手作りの募金箱